

男女(とも)に防災! PEACE Festa

被災者や要配慮者に優しい地域防災組織づくりを目指して男女共同参画の視点を取り入れた防災知識を身につけ、万が一の備えを充実させるためのフェスタを実施。女性起業家によるマルシェや子供むけイベントを同時開催。



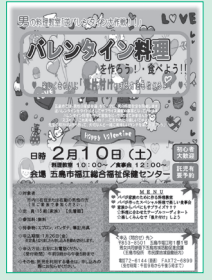
※HUG避難所運営ゲームの様子



女性起業家によるピースマルシェ

男の料理教室「逆バレンタイン大作戦!!」

パパから家族への贈り物として、サンドイッチやポタージュスープなどの料理に挑戦。ママと子供たちでデコレーションしたお皿やランチョンマットで楽しく料理を堪能しながら家庭内での役割について理解を深め、後片付けは家族みんなで行うことで家族の絆を深めました。



男の料理教室

笑顔でいただきます



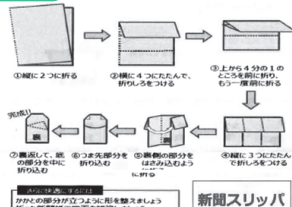
ママ目線での防災術 ～東日本大震災、熊本地震の経験から～

歌う防災士、柳原志保さんを講師に、女性として普段からできる災害への備えなど実体験を通して感じたことを講演いただきました。



新聞でスリッパ作りに挑戦

割と簡単～♪



新聞スリッパ

災害に備えよう! ～防災と男女共同参画～

5人1組でHUG避難所運営ゲームを行いました。ゲームを通して災害時の避難所の課題を検討しました。避難所において女性視点の運営の重要性を認識できました。



※HUG避難所運営ゲームの様子

短時間に殺到する避難者をどのように誘導・配置しますか?

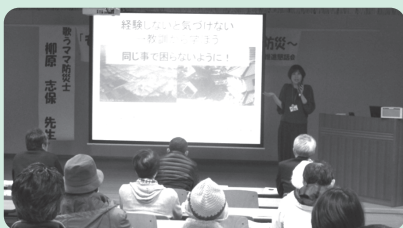
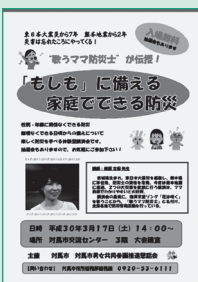


企画スタッフの感想

HUG避難所運営ゲームを実施したことにより、普段なかなか考えることのない避難所生活について考えてもらう機会になった。杵岐市に合った避難所HUGカード作成などを検討していきたい。

「もしも」に備える 家庭でできる防災

歌う防災士、柳原志保さんを講師に、自宅のできる日頃からの備えに重点を置いた内容の講演会を実施しました。



講演会

災害時に慌てなくても済むよう
防災リュックを準備しましょう。

企画スタッフの感想

性別も年齢も関係なく誰にでもできることばかりだったので、「防災＝大がかりで難しい、男性のすること」という刷り込まれた意識への気づきのきっかけになった講演会でした。

※HUG避難所運営ゲームとは

H (hinanzyo 避難所)、
U (unei 運営)、
G (game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるかまた避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。



静岡県地震防災センターHPより